

## V 授業づくりの実際

### 1 2年生の実践（学級創意～外国語活動～取扱い）

#### (1) 単元名

フルーツパッフェを作ろう

#### (2) 単元の目標

・好きな果物の言い方に慣れ親しむことを通して、友達と楽しく英語を使い交流しようとする。

#### (3) 単元の指導計画（単元デザイン）

時	主な学習活動	コ	慣	気	単元で扱う表現・語彙
1	果物の言い方に慣れ親しむ。 【Chant】 フルーツチャンツ 【Game】 ダイナソー&ミートゲーム			○	banana/melon/strawberry/kiwi/apple/peach/orange/grapes
2	果物の言い方や好きな果物の言い方に慣れ親しむ。 【Chant】 I like ～チャンツ 【Game】 パッシングゲーム		○		I like ～. I like banana , melon and strawberry. Here you are. Thank you.
3 本 時	好きな果物を集めて、自分のパフェを作る。 【Chant】 I like ~please チャンツ 【Activity】 フルーツ屋さんごっこをする。	○			I like ～ please. Here you are. Thank you.

#### (4) 研究の視点

視点1 「英語でコミュニケーションを図りたくなる必然性のある場面設定」

- ①学習のゴールとなるコミュニケーション活動として、「自分の好きな果物を集めて、お気に入りのフルーツパフェを作ろう」と設定した。児童の好きなごっこ遊びを取り入れながら、やってみたいという意欲を持たせた。
- ② Eye contact Clear voice Smile Gesture Reaction に気を付けさせ、特に Reaction をすることを意識させていくことで楽しくコミュニケーションができるようにした。

視点2 「英語に慣れ親しむ活動の工夫」

①英語の表現に繰り返し慣れ親しめる活動の工夫

指導時	ゲーム名	ゲームの特性		
		聞く	繰り返し言い 音に慣れる	記憶したり 自分のものにする
①	ダイナソー&ミートゲーム	◎	○	
②	パッシングゲーム	○	◎	○
③	フルーツ屋さんごっこ	○	◎	○

物の言い方や表現（I like ～）を繰り返し発音し、その際、ゲームやチャンツを取り入れながら、楽しく活動できるように工夫した。何度も聞き、次に繰り返して言い、最後に自分で発話しながら友達と交流することで慣れ親しませた。

② ALT との効果的な指導の工夫とデジタル教材の活用

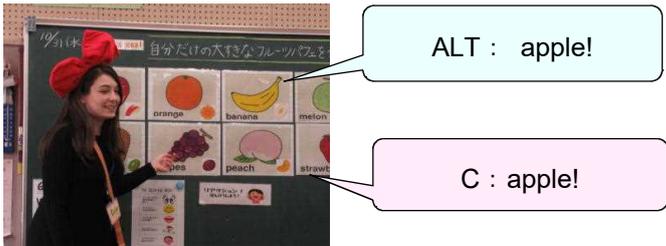
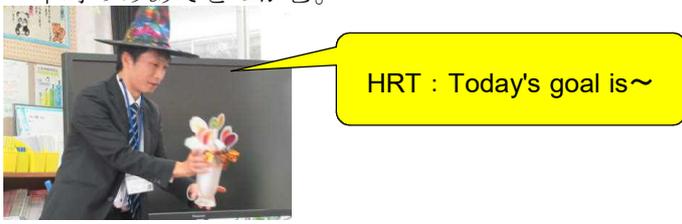
ALT の口の動き・英語特有のリズム・ジェスチャーをしっかりと見たり聞いたりさせ、まねさせるようにした。また、デジタル教材である「白旗チャンツ」を活用して、繰り返し聞いたり、言ったりする活動を行った。

視点3 「評価の工夫」

- ①活動の際に、英語特有のリズムに気を付けているか、Eye contact Clear voice Smile Gesture Reaction に気をつけてコミュニケーションしているかを評価していった。
- ②自分の好きな果物を集める様子を観察し、他者を意識してやりとりをしている児童を見つけたら、そのコミュニケーションの仕方の良さを全体に広げた。

(5) 本時の学習

- ① 本時の目標  
好きな果物を集めてフルーツパフェを作ろうとしている。
- ② 本時の展開 (3 / 3)

過程	学習活動	教師の支援と評価 ○HRT ●ALT
つかむ	<p>1 Greeting あいさつをする。</p> <p>2 Warming up フルーツチャンツをする。</p>  <p>ALT : apple!</p> <p>C : apple!</p> <p>3 Today's goal 本時のめあてをつかむ。</p>  <p>HRT : Today's goal is ~</p> <p style="text-align: center;"><b>自分だけの大好きなフルーツパフェを作ろう</b></p>	<p>○ clear voice を意識させる。数名の児童に教師とやり取りをさせた。</p> <p>Hello, everyone. How are you?</p> <p>●児童の発音のモデルになった。</p> <p>○果物の名前をリズムに乗って楽しく発音させた。</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【研究の視点2】</b> 前時のフルーツチャンツを復習することで、語彙に繰り返し慣れ親しませ、自信をつけた。</p> </div> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【研究の視点1】</b> 好きなフルーツパフェを作るために本時でどんな学習をすればよいかを児童に考えさせ、本時のめあてをつかませた。</p> </div>
	<p>4 Let's play フルーツ集めゲームをする。</p>  <p>C : What's fruits?</p> <p>C : Banana!</p>	<p>○フルーツパフェを作るために、フルーツの木からフルーツを集めることを目的として活動させた。</p> <p>●児童の発音を確認したり、発音の手本を示したりした。</p> <p>○児童に聞こえた語彙を発音させながら活動させた。</p> <div style="border: 2px solid green; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【研究の視点2】</b> 果物の語彙に何度も慣れ親しませ、児童は自信をつけた。</p> </div>

<p>し っ か り 考 え る</p>	<p>5 Practice I like ~ please チャンツをする。</p>  <p>ALT : I like banana, please. Here you are. Thank you.</p> <p>C : I like banana, please. Here you are. Thank you.</p> <p>HRT : エリン先生の口をよく見て、 発音をよく聞いてね。</p>	<p><b>【研究の視点2】</b> 「I like ~, please.」チャンツで本 時で使用する表現に繰り返し慣れ 親ませた。リズムに合わせて ALTが発音し、児童がそれを繰 り返した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ジェスチャーを示しながら発音し、児童のモデルになった。</li> <li>○児童の様子を確認しながら一緒にチャンツを行い、単語を入れ替えたり速さを調節したりして表現に慣れさせた。</li> <li>○ジェスチャーをふまえながら発音している児童や発音が上手な児童を取り上げ、意欲付けとした。</li> </ul>
<p>伝 え る ・ 高 め る</p>	<p>6 Activity フルーツ屋さんごっこをする。 (1)準備や活動の進め方を確認する。 (2)友達と交流する。</p>  <p>C : I like banana, please.</p> <p>C : Here you are.</p> <p>C : Thank you.</p>  <p>HRT : 自分の好きなフ ルーツパフェ にしようね!</p> <p>7 自分のパフェを紹介する。</p>  <p>C : I like banana and kiwi and orange.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室の児童机を円状に配置し、お店屋さんごっこをさせた。</li> <li>○ Good communication の視点を意識させながら交流させた。</li> <li>○コミュニケーションの上手な児童を取り上げながら、児童の活動に生かせるように視点を取り上げた。</li> <li>○教師が手本を見せながら、自分のパフェを紹介できるようにした。</li> </ul> <p><b>【研究の視点3】</b> Good communication の児童を紹介して、意欲の向上を図った。</p> <p><b>【研究の視点2】</b> お店屋さんで繰り返し表現を使えるようにし、児童が自信をもって友達とコミュニケーション活動で使えるようにした。</p> <p><b>【研究の視点1】</b> 自分が作ったパフェを友達に紹介する活動を通して、英語で伝える喜びを感じさせた。</p>
<p>ま と め る</p>	<p>8 Looking back 友達と感想を交流し合う。</p>  <p>C : 英語でたくさん話せるようになりました。</p> <p>9 Ending あいさつをする</p>	<p><b>【研究の視点3】</b> 友達との感想交流の中で思ったことを中心にふり返りをさせた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達との英語を使った交流の中で楽しかったこと等を発表させた。</li> <li>○明るくあいさつを交わし、楽しい雰囲気が終わった。</li> </ul>